

本要項は前回の募集要項のため、この要項では申請できません。

群馬県野鳥の森施設 指定管理者募集要項

群馬県野鳥の森施設の管理業務を効果的かつ効率的に行うため、次のとおり指定管理者を募集します。

第1 施設の概要

1 名称

群馬県野鳥の森施設（以下「野鳥の森施設」という。）

2 所在地

安中市松井田町横川 小根山国有林 157 林班口 1 小班 ほか 地内

3 概要

(1) 施設の設置目的

野鳥の森施設は、県民の自然に関する知識及び教養の向上を図り、県民の保健及び休養に資することを目的として、設置しました。

(2) 施設の特徴

野鳥の森施設は、明治37年に国の林業試験地として開設された森林を、見本林として県民に開放してきた小根山国有林内に、県が「野鳥の森」として整備してきた施設です。

40種余りの外国産樹種や、日本各地の有用樹種を有する小根山森林公園の核となる施設で、四季を通じてたくさんの野鳥を観察し、ゆっくり散策を楽しむことができる施設です。

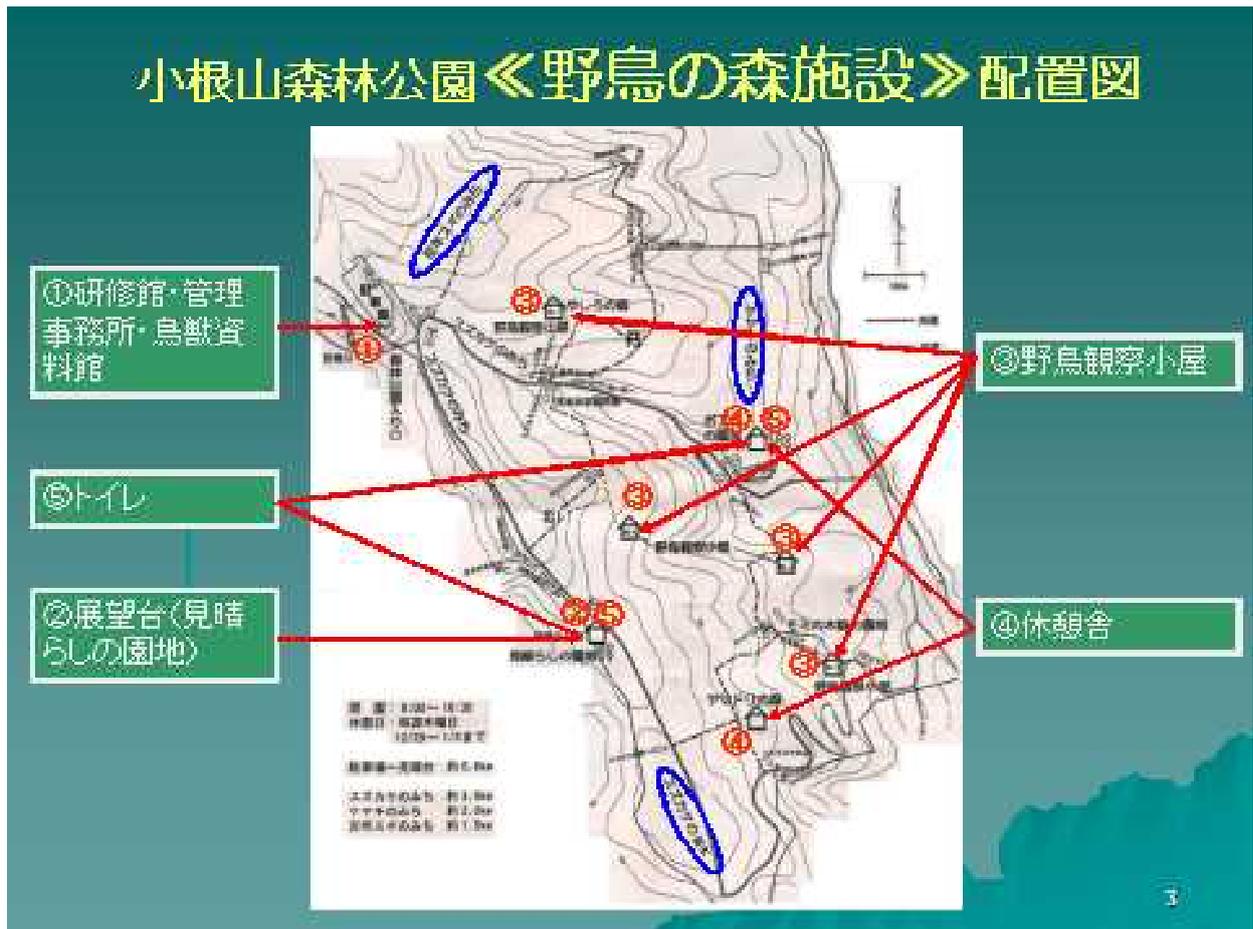
(3) 施設の構成

野鳥の森施設は、国有林野内にある9.1haの小根山森林公園内の一部、1.3haを群馬森林管理署から借り受け、野鳥観察や野生鳥獣の資料に係る設備を中心に構成されています。

ア 主要な施設等

野鳥の森研修館	1棟
鳥獣資料館	1棟
野鳥観察小屋	4棟
展望台	1棟
休憩舎	2棟
その他付帯施設（野外便所2箇所、駐車場、園路、防火水槽等）	

イ 施設等の配置図



(4) 施設の利用状況

ア 近年の状況

(単位：人)

年 度	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8	H 2 9
利用人数	5,361	4,957	4,793	5,199	4,629

イ 平成29年度の月別の状況

(単位：人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12
利用人数	432	591	282	407	390	291	251	759	298

1	2	3	合 計
193	243	492	4,629

第2 施設の管理運営方針及び管理の業務等の範囲

1 施設の管理運営方針

野鳥の森施設の設置目的に基づき、親しみやすく、広く県民に利用しやすい施設として、以下の方針のもとに管理運営を行うものとします。

- (1) 群馬県野鳥の森施設の設置及び管理に関する条例(以下「野鳥の森条例」という。)同条例施行規則及びその他関係法令に基づき、適正な管理運営を行う。
- (2) ボランティア団体の利活用等も検討し、効果的かつ効率的な運営を行うことで、経費節減に努める。
- (3) 利用者の意見・要望の反映、指定管理者による自主事業の充実等により、利用者の利便性を高め、親しみやすく、利用しやすい施設運営に努める。
- (4) 地域住民の意見・要望にも配慮した運営に努める。
- (5) 従業員の教育にも力を入れ、質の高いサービスの提供に努める。
- (6) 緊急事態発生時も利用者の安全を第一に考え、適切で速やかな対応ができるような体制を整備する。
- (7) 指定管理業務の実施に関して、群馬県情報公開条例の趣旨に則り、情報公開について適切に対応する。

2 指定管理者が行う業務の範囲

野鳥の森条例第5条に定める以下の業務と、別に添える群馬県野鳥の森施設「管理仕様書」とします。

- (1) 野鳥の森施設の休館日の変更等に関する業務
- (2) 野鳥の森施設の開館時間の変更に関する業務
- (3) 野鳥の森施設の利用制限に関する業務
- (4) 野鳥の森施設の維持管理に関する業務
- (5) その他、野鳥の森施設の管理に関する事務のうち、知事が別に定める業務

3 自主事業

自主事業とは、指定管理者が自ら企画・立案する事業です。

指定管理者は、野鳥の森施設の設置目的に合致し、かつ管理業務の実施を妨げない範囲において、自らの責任と費用により、自主事業を実施することができるものとします。

自主事業を計画している場合は、別添「様式2 事業計画書」に指定管理業務と区別して内容を記載してください。

ただし、事業計画書において提案された自主事業の実施に当たっての可否については、知事と協定を締結する際にあらためて協議するものとします。

また、自主事業の計画は、以下の留意事項を踏まえて作成してください。

【留意事項】

- (1) 指定管理者が自主事業を実施する場合には、あらかじめ知事と協議しその承認を得なければなりません。
- (2) 自主事業に要する経費に群馬県が支払う管理に要する経費（指定管理料）を充てることはできません。
- (3) 自主事業による収入は指定管理者が収受するものとします。

第3 管理の業務の成果目標

管理の業務の成果目標は、現在の野鳥の飛来状況を迅速に発信し利用者の満足度を高め再利用を促すなどして、施設の年間利用者数が前年度の実績を上回ることとします。

また、この他にも適宜成果目標を設定し、事業計画書に記載してください。

第4 指定の期間

平成31年4月1日から平成36年3月31日までとします。

ただし、指定の期間中であっても、指定管理者が野鳥の森施設の管理を継続することができないと認めるとき、又は群馬県が野鳥の森施設の管理を中止するときは、指定を取り消すことがあります。

第5 申請に必要な資格

指定の申請を行うことができるのは法人その他の団体（以下「団体」という。）で、次に掲げる条件の全てを満たすものとします。

- 1 団体又はその代表者が、次の事項（欠格事項）に該当しないこと。（(6)及び(9)については、役員等を含む。）
 - (1) 法律行為を行う能力を有しない者（法人でない団体の場合、その代表者）
 - (2) 破産者で復権を得ない者
 - (3) 地方自治法施行令第167条の4第2項（同項を準用する場合を含む。）の規定により、群馬県における一般競争入札等の参加を制限されている者
 - (4) 当該団体の責めに帰すべき事由により、地方自治法第244条の2第11項の規定に基づき群馬県又は他の地方公共団体から指定を取り消され、その取消してから2年を経過しない者
 - (5) 暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第2条第2号に規定する暴力団をいう。以下同じ。）
 - (6) 暴力団の構成員（暴力団の構成団体の構成員を含む。以下同じ。）又は暴力団の構成員でなくなった日から5年を経過しない者（以下「暴力団員等」という。）

- (7) 暴力団員等が事業活動を実質的に支配している者
 - (8) 親会社等又はその代表者、役員等が(5)から(7)までに該当する者
 - (9) (5)から(8)までに掲げる者と便益の供与、交際等の関係を有する者（雇用又は使用している場合及び業務委託、資材調達等をしている場合を含む。）
 - (10) 納付すべき税（群馬県税、法人税（法人の場合）、申告所得税（法人でない団体の場合、その代表者）、消費税及び地方消費税）を滞納している者
 - (11) 障害者の雇用の促進等に関する法律に基づく障害者雇用率が達成されておらず、かつ、障害者雇用納付金を滞納している者
 - (12) 群馬県議会議員、知事、副知事、企業管理者及び行政委員会の委員が無限責任社員、取締役、執行役若しくは監査役若しくはこれらに準ずべき者、支配人又は清算人となっている団体（議員以外の者にあつては、群馬県が資本金、基本金その他これらに準ずるものの2分の1以上を出資している法人を除く。企業管理者及び行政委員会の委員については、その職務に関連する施設に限る。）
- 2 群馬県内に本社又は本店を有する団体であること。
- ここでいう「本社又は本店」とは、登記上の本社又は本店とする。（法人格のない団体については、定款等で本社又は本店等が群馬県内と定められていて、かつ実際に本社又は本店機能を有する事業所が群馬県内にあること。）
- 3 グループ申請の場合の条件
- (1) 複数の団体がグループを構成して申請する場合は、代表となる団体を定めるとともに構成団体は連帯して責任を負います。
 - (2) グループを構成するすべての団体は、前記1の条件を満たす必要があります。前記2の条件については、グループ内にこれを満たさない団体がある場合でも、グループを代表する団体がこれを満たしており、かつ、当該条件を満たさない団体が県内に支社又は支店を有するときは、申請を行うことができます。
- 「支社又は支店」とは、登記上の支社又は支店とします。（法人格のない団体については、定款等で支社又は支店等が群馬県内と定められていて、かつ実際に支社又は支店機能を有する事業所が群馬県内にあること。）
- (3) 代表となる団体及びグループを構成する団体の変更は原則として認めません。ただし、グループを構成する団体については、業務遂行上支障がないと群馬県が判断した場合に限り、変更を認める場合があります。

第6 申請の方法

1 提出書類

指定管理者指定申請書（群馬県公の施設に係る指定管理者の指定の手続等に関する条例施行規則（別記様式第1号））に、次に掲げる書類を添えて申請してください。

なお、審査の過程で追加資料の提出を求められることがありますので、あらかじめ御承知おきください。

(1) 事業計画書（別添「様式2」）

事業計画書には、次の事項を記載してください。

ア 団体に関する事項

イ 管理運営方針に関する事項

ウ 実施計画に関する事項（自主事業に関する事項を含む）

エ 収支計画に関する事項

オ 管理運営体制に関する事項

(2) 事業計画書要旨（別添「様式3」）

事業計画書の内容をA4判2ページ程度にまとめてください。

なお、事業計画書要旨は、申請受付期間終了後、群馬県ホームページで公表します。

(3) 申請の日の属する事業年度の直近3事業年度における貸借対照表及び損益計算書又はこれらに類する書類

(4) 申請の日の属する事業年度の前事業年度における事業報告書又はこれに類する書類

(5) 定款、寄附行為、規約又はこれらに類する書類

(6) 法人にあっては登記事項証明書、法人以外の団体にあっては代表者の住民票の写し（個人番号（マイナンバー）が記載されていないもの）

(7) 役員の名簿

(8) 群馬県税、消費税及び地方消費税、その他納付すべき税の納税証明書

(9) 労働保険に加入していることを証する書類（従業員を雇用していない事業者は除く。）

(10) 社会保険に加入していることを証する書類（従業員を雇用していない事業者は除く。）

(11) 就業規則の写し（届出義務がある事業者に限る。）

(12) 障害者の雇用の促進等に関する法律に定める障害者雇用状況報告書の写し（提出義務がある事業者に限る。）

(13) 障害者の雇用の促進等に関する法律に定める障害者雇用納付金にかかる申告書の写し及び納付書の写し（平成28年度及び平成29年度のもの）（対象となる事業者に限る。）

(14) 団体又は代表者が欠格事項に該当しない旨の申告書（別添「様式4」）

(15) グループ申請に関する書類

ア 指定管理者の募集へのグループによる申請に当たっての誓約書（別添「様式5」）

イ グループ構成表（別添「様式6」）

ウ 委任状（別添「様式7」）

なお、市町村が申請の場合は（3）～（8）については添付省略可。

2 提出方法

(1) 提出場所

前橋市大手町一丁目一番一号

群馬県環境森林部自然環境課野生動物係（群馬県庁16階北側フロア）

(2) 提出方法

持参又は郵送（書留扱い）により提出してください。電子メールやファクシミリによる提出は無効とします。

(3) 提出部数

正本1部と副本16部の計17部を提出してください。ただし、併せて申請書の内容を電子データで提出する場合は、編綴済みの正1部、未編綴の副1部の計2部及び印刷・複写が困難なリーフレット等資料17部でよいものとします。

3 著作権の帰属等

(1) 提出された申請書類の著作権は、申請者に帰属します。

(2) 群馬県は、選定結果の公表などに際し必要な場合は、申請書類の内容を無償で使用する事ができることとします。

(3) 提出された書類は、群馬県情報公開条例により非公開とすべき部分を除き、公開することがあります。

4 その他

(1) 申請者名は、事業計画書要旨と合わせて、申請受付期間終了後に群馬県ホームページで公表します。

(2) 提出された申請書類は、理由のいかんを問わず、返却いたしません。
また、申請書類の修正・再提出や申請の撤回は一切できません。

(3) 提案は、1応募者（グループ申請の構成団体である場合を含む）につき1提案までとし、複数提案することはできません。

(4) 複数の団体でグループを構成して応募する場合（グループ申請の場合）は、すべての団体について、前記1（3）から（15）までの書類の提出が必要です。

第7 申請受付期間

- (1) 受付期間：平成30年8月6日(月)から平成30年8月31日(金)まで
(土曜日及び日曜日は除く)
- (2) 持参の場合：受付時間は、午前8時30分から午後5時15分まで
- (3) 郵送の場合：平成30年8月31日(金)午後5時15分必着

第8 選定委員会の設置及び審査・選定

指定管理者の選定については、その選定過程や手続の透明性・公正性を高めていくため、外部の有識者で構成する群馬県環境森林部指定管理者選定委員会（以下「選定委員会」という。）を設置し、総合的に審査・選定を行います。

審査は、書類審査による第1次審査と、申請団体によるプレゼンテーション及び申請団体に対するヒアリングを踏まえた第2次審査を行います。

第9 選定の基準

1 第1次審査

選定委員会は、申請書類を基に、「申請に必要な資格」を有しているか、及び野鳥の森施設管理を安定して行う能力があるかを審査します。

2 第2次審査

選定委員会は、次の基準により審査の上、合計得点が第1位となった者について、指定管理者の候補者に適すると判断した場合に、その旨を群馬県に答申します。群馬県は、選定委員会の答申結果を基に候補者を決定します。

ただし、合計得点が第1位であっても、合計得点が50点に満たない場合又は選定基準の中で得点が「D 劣っている」の基準点に満たないものがある場合は、候補者に選定しません。また、選定委員会において各選定委員の採点状況等を総合的に検討し、合計得点が第1位でない者を候補者に適すると判断する場合があります。

【選定基準等】

選定基準	審査項目	審査内容	配点	採点				
				A	B	C	D	E
事業計画の内容が県民の平等な利用を確保することができるものであること。	県民の平等な利用の確保	・施設の管理運営を行う上での基本的な考え方は適切か ・県民に対し平等・公平にサービスを提供することができるか	20	20	15	10	5	0
事業計画の内容が当該施設の設置の目的を効果的かつ効率的に達成する	サービスの提供内容	・サービス向上のための取組は妥当か ・施設の設置目的に沿った事業計画内容となっ	1 25	25	18	13	7	0

<p>ことができるものであること。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ているか ・効果的・効率的な工夫がなされているか ・独自の新しいアイデアが生かされているか ・施設や設備の維持管理の取組は妥当か 						
	収支計画	<ul style="list-style-type: none"> ・収支の積算は妥当か ・収支計画と事業計画との整合性はとれているか 						
	経済性	<ul style="list-style-type: none"> ・経費の節減は図られているか 	1 5	$2 \times \frac{\text{指定管理料 上限額} - \text{指定管理料 提案額}}{\text{指定管理料 上限額} \times 0.2}$ <p>ただし、配点を上限とする。</p>				
<p>指定管理者の指定を受けようとする団体が事業計画に沿った管理を安定して行う能力を有するものであること。</p>	管理運営体制	<ul style="list-style-type: none"> ・組織及び職員の勤務体制は妥当か ・職員配置計画は妥当か ・責任の所在は明確となっているか ・有資格者や経験者等の配置は妥当か ・外部委託の実施計画は妥当か ・グループの場合の責任や役割分担は妥当か ・障害者の雇用計画は妥当か 	30	30	20	15	10	0
	財務状況	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の財務状況は健全か 						
	法令遵守等	<ul style="list-style-type: none"> ・法令違反の有無 ・法令遵守及び団体（企業）倫理への取組は妥当か（倫理規程、公益通報者保護制度の整備状況等） ・労働保険や社会保険に加入しているか ・障害者雇用への取組 						
<p>その他施設の設置目的を達成するために必要と認める基準</p>	利用者要望への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者等からの苦情・要望の把握及びそれらへの対応体制は妥当か ・トラブルの未然防止及び発生時の対策は妥当か 	20	20	15	10	5	0
	地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・地域団体（住民）との連携や地域貢献は十分か 	10	10	7.5	5	2.5	0
	環境問題への取組	<ul style="list-style-type: none"> ・環境保全に対する取組は積極的か 						
	防災対策及び緊急時の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・防災対策及び緊急時の対応策は妥当か 						
	個人情報保護	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報保護の取組は 						

	及び情報公開 の取組	妥当か ・情報公開の取組は妥当か							
	専門的知識	・指定期間の当初から円滑に業務を実施できる知識等を有しているか (例) ・同種又は類似施設の適切な管理実績 ・同種又は類似施設の十分な実態調査・分析 ・有資格者・経験者の確実な確保 など	4 現指定管理者は別項目として採点	10	10	7.5	5	2.5	0
				管理運営状況の評価結果に応じて					

採点は、配点項目ごとに、次の基準により各選定委員が行った評価をその項目の採点欄の得点に換算して行います。なお、配点項目ごとに全委員の採点を平均したものをその配点項目の得点とし、全配点項目の合計得点を算出します。

A：特に優れている B：優れている C：普通 D：劣っている E：特に劣っている（基準を満たさない）

- 「事業計画の内容が当該施設の設置の目的を効果的かつ効率的に達成することができるものであること」の選定基準の採点は、「サービスの提供内容」及び「収支計画」と「経済性」とに分けて採点します。
- 「経済性」の採点は、指定管理料上限額の2割削減を採点の満点、上限額と同額を0点とし、提案額に応じて点数化します。ただし、不当廉価防止のため、2割以上の削減であっても2割削減と同得点とします。
- 後記第12 - 4の障害者雇用に関する事項の対象となる施設について、雇用計画等を審査します。
- 現指定管理者が申請した場合は、「専門的知識」は単独で配点し、管理運営状況の評価結果に応じて次の基準により採点します。

採点	評価委員会の総括評価		県の年度評価の総合評価
A 10点	A	かつ	直近がA
B 7.5点	B以上	かつ	指定期間中すべてB以上
C 5点	B以上	かつ	直近がB
D 2.5点	C	又は	直近がC
E 0点	D	又は	直近がD

管理運営状況の評価基準 A：優良 B：良好 C：要努力 D：要改善

これにより、現指定管理者については、その他「利用者要望への対応」、「地域貢献」、「環境問題への取組」、「防災対策及び緊急時の対応」、「個人情報保護及び情報公開の取組」は、合わせて10点満点となります。

それ以外の申請者については、「専門的知識」も含めた「その他施設の設置目的を達成するために必要と認める基準」全体を20点満点で採点します。

3 障害者雇用率加算等

申請者の障害者雇用率（障害者の雇用の促進等に関する法律施行令又は同法施行規則に基づく報告における実雇用率を指す。以下同じ。）の達成の程度に応じて上記の配点とは別に、下表とおり加点減点項目・配点を定めるものとします。

なお、法定雇用障害者数を満たしていない申請者については、指定管理期間中の達成に努めることとします。

1 . 障害者雇用率が2.2%以上2.5%未満の場合（地方公共団体を除く）	
・ 障害者雇用状況の報告義務 ⁽²⁾ がある団体	3点の加算
・ 障害者雇用状況の報告義務 ⁽²⁾ がない団体	4点の加算
2 . 障害者雇用率が2.5%以上の場合（地方公共団体を除く）	
・ 障害者雇用状況の報告義務 ⁽²⁾ がある団体	4点の加算
・ 障害者雇用状況の報告義務 ⁽²⁾ がない団体	5点の加算
3 . 地方公共団体の場合（括弧内は教育委員会）	
・ 障害者雇用率が2.5%（2.4%）以上2.8%（2.7%）未満	3点の加算
・ 障害者雇用率が2.8%（2.7%）以上	4点の加算
4 . 過去2年分 ⁽⁴⁾ の障害者雇用納付金について、滞納があった場合	5点の減点

- 1 グループ申請の場合は、原則全事業者の平均で算定するものとする。
- 2 障害者の雇用の促進等に関する法律に定められている国への報告を指す。
- 3 3年以上継続して上記障害者雇用率を満たしていたにもかかわらず、障害者の都合による離職等により、指定管理者募集年度に上記障害者雇用率を満たせない特別な事情が認められる場合で、今後障害者の新たな採用の意向が認められるときは、上記加点の50%を限度として加点する。
- 4 指定管理者募集年度の前年度申告分及び前々年度申告分を指す。

第10 スケジュール

1 募集要項の配布

- (1) 配布期間 平成30年7月9日（月）から平成30年8月31日（金）まで
- (2) 配布時間
 - ・ 下記配布場所では配布期間内（土曜日、日曜日及び祝日を除く）の午前9時から午後5時15分まで
 - ・ 群馬県ホームページでは配布期間内の終日
配布初日（7月9日（月））は、午後1時から配布を開始します。

配布最終日（8月31日（金））は、午後4時をもって掲載を終了します。

サーバの不調やメンテナンス等により、一時的に閲覧及びダウンロードができなくなることがあります。

- (3) 配布場所
- ・ 前記第6 - 2 (1)の提出場所に同じ
 - ・ 群馬県ホームページ

(http://www.pref.gunma.jp/07/a07g_00012.html)

2 申請に関する現地説明会

申請に関する現地説明会を次のとおり開催しますので、参加を希望される場合は、説明会参加申込書（別添「様式8」）により平成30年7月20日（金）までに申し込んでください。

(1) 日時：平成30年7月25日（水） 10時～12時まで

(2) 場所：群馬県野鳥の森研修館

また、申請書受付締切日までの間は、現地説明会以外の日においても事前に後記第13の問い合わせ先に連絡の上、随時施設の見学が可能です（野鳥の森施設の休館日を除く）。ただし、現地での説明はできない場合があります。

3 申請に関する質問

申請に関する質問は、原則として、質問票（別添「様式9」）により行ってください。質問票は、後記第13の問い合わせ先までお送りください（メール可。平成30年8月24日（金）〆切り）。なお、電話での質問はお受けできません。

回答は、原則として、群馬県ホームページに掲載します。

4 第1次審査結果の通知

第1次審査の結果については、平成30年10月頃に全ての申請者に対して通知します。

5 プレゼンテーション及びヒアリング

第1次審査を通過した団体については、申請内容等に関するプレゼンテーション及びヒアリングを実施します。日時・場所等の詳細は、第1次審査の結果と合わせて連絡します。

6 選定結果の通知

指定管理者の候補者の選定結果については、平成30年11月頃に第2次審査の参加者に対して通知します。

7 選定結果の公表

指定管理者の候補者を選定した審査の過程や審査結果等については、群馬県ホームページで公表します。

8 指定管理者の指定

指定管理者の指定については、平成30年12月に群馬県議会（平成30年第3回後期定例会）の議決を経て行うものとします。

第11 管理費用等

1 群馬県が指定管理者に支払う管理費用（指定管理料）の総額

群馬県が指定期間中に支払う野鳥の森施設の管理に要する経費（以下「指定管理料」という。）の総額は、次に示す額を上限とし、収支計画において指定管理料がこの額を超えている申請は、第1次審査において失格とします。

指定管理料の額

35,521千円以内（消費税及び地方消費税（以下「消費税等」という。）を含む5年間の総額。）

消費税等の税率を平成31年9月30日までは8%で算定し、平成31年10月1日以降は10%で算定した額である。

なお、この上限額は予定金額であり、実際の上限額は、事業計画書の中で提案された額を上限として、群馬県の予算の範囲内において協議により定める額とします（具体的には、後記第12-1の基本協定で定めるものとします。）

また、各年度の指定管理料は、各会計年度の群馬県の予算の範囲内において協議により定める額とします（具体的には、後記第12-1の年度協定で定めるものとします。）

2 管理費用の算出

管理費用の算出に当たっては、人件費、維持管理費、事務費、光熱水費、消耗品費、修繕費、備品購入費、委託費、租税公課など、管理業務に必要な経費を計上し、提案してください。

【参考】

(1) 年間管理費用の実績

（単位：千円）

区 分	年間管理 費用実績	基本的維持管理経費（内数）			
		人件費	維持管理費	事務費	修繕費
平成26年度	6,781	4,286	2,399	36	60
平成27年度	6,925	4,266	2,545	36	78
平成28年度	6,699	4,392	2,239	36	32
平成29年度	6,775	4,418	2,285	36	36

(2) 職員体制

(単位：人)

	職員数	常勤職員	非常勤職員
平成26年度	3	1	2
平成27年度	3	1	2
平成28年度	3	1	2
平成29年度	3	1	2

(3) 管理物件等

群馬県野鳥の森施設「管理仕様書」のとおり

3 支払方法

指定管理料は、原則として、精算払いとなります。四半期ごとに前払金を請求することも可能としますが、具体的には群馬県と指定管理者とが協議の上、年度ごとに締結する協定で定めます。

4 管理費用の経理

管理費用の経理は、団体の他の事業に係る経理と明確に区分した上で群馬県の会計年度（4月1日から翌年3月31日まで）ごとに区分してください。他の事業との共通経費がある場合は、あらかじめ適正な配賦基準を定めて計上してください。また、自主事業を行う場合は、自主事業に係る経費を区分して経理してください。

5 修繕費

1件3万円以内の施設、設備、備品の維持補修に係る修繕は、指定管理者の負担で行っていただきますので、所要の経費を計上してください。

6 備品購入費

備品を購入する必要がある場合は、所要の経費を事業計画（管理費用の積算）に計上してください。

このうち、群馬県が貸与した備品の経年劣化や毀損滅失等により、指定管理者が購入又は調達する代替の備品の所有権は、群馬県に帰属します。その他の備品についても、あらかじめ群馬県と指定管理者で協議の上、施設の管理運営に不可欠なものと判断される備品については群馬県に帰属することがあります。

なお、事業計画（管理費用の積算）に計上していない備品を購入する際は、事前に所有権について群馬県と協議していただきます。

7 消費税等の扱い

消費税等の税率について、平成31年9月30日までは8%で算定し、平成31年10月1日以降は10%で算定してください。

なお、指定期間中に消費税等の税率が変更された場合は、関係経費について確認の上、必要額を見直すこととします。

指定管理者として指定された場合、協定書の締結にあわせて、課税事業者届出書(別添「様式10」)又は免税事業者届出書(別添「様式11」)を提出していただきます。
(市町村が申請の場合は不要)

8 収入に関する留意事項

自主事業等、その他の収入を見込む場合は、具体的な内容を明示の上、事業計画作成前にお問い合わせください。

指定管理者の収入とはできない事項(例:施設のネーミングライツ料収入)が計上されている場合、第1次審査において失格となることがありますので、ご注意ください。

第12 その他の留意事項

1 協定に関する事項

指定管理者に指定された場合には、指定の期間を通じた「基本協定書」と「年度協定書」を締結することになります。

【基本協定書】

基本協定書に定める主な事項は、次のとおり予定しています。

- (1) 指定管理者が行う業務に関する事項
- (2) 当該施設の管理費用等に関する事項
- (3) 自主事業に関する事項
- (4) 個人情報保護に関する事項
- (5) その他必要な事項
 - ・協定の目的
 - ・指定の期間
 - ・協定の適用関係
 - ・区分経理
 - ・文書の管理及び保存
 - ・備品の取扱い
 - ・秘密の保持
 - ・月例報告書、事業報告書等の作成及び提出
 - ・モニタリングの実施
 - ・リスク分担
 - ・委託の原則禁止
 - ・権利義務の譲渡の禁止
 - ・緊急時の対応

- ・ 不可抗力による業務の免除
- ・ 指定の取消し
- ・ 指定管理者による協定解除の申出
- ・ 指定管理業務の引継ぎ
- ・ 自主事業
- ・ 運営協議会の設置
- ・ 原状回復義務
- ・ 損害賠償
- ・ 諸規則の整備及び提出（個人情報保護、情報公開、使用承認事務処理、緊急時の連絡体制、省エネルギー関係法令に基づく管理標準等）
- ・ 暴力団等の排除（指定管理業務からの排除、利用からの排除）

【年度協定書】

年度協定書に定める主な事項は、次のとおり予定しています。

- (1) 当該年度の業務内容（事業計画）
- (2) 当該年度の管理費用に関する事項
- (3) その他必要な事項

2 指定の取消し等

- (1) 前記第10 - 8により指定管理者の指定を受けた者が正当な理由なく協定締結に応じない場合は、指定管理者の指定の議決後においても、当該指定を取り消す場合があります。
- (2) 協定締結までの間に次のいずれかの事項に該当することが判明した場合は、指定管理者の指定を取り消し、協定を締結しないことがあります。
 - ア 資金事情の悪化等により、適正な施設管理を継続することが確実にないと認められるとき
 - イ 著しく社会的信用を損なう等により、指定管理者としてふさわしくないと認められるとき
- (3) 指定の期間中であっても、施設の管理を継続することが適当でないと認めるときは、指定管理者の指定を取り消し、又は期間を定めて指定管理業務等の停止を命じることがあります。
- (4) 指定管理者による協定解除の申出を受けた場合、申出がやむを得ないものと認めるときは、協定を解除し、指定管理者の指定を取り消すことができるものとします。この場合、あらかじめ協定書において定めた額を違約金として指定管理者に請求することがあります。

3 法令遵守に関する事項

指定管理者は、次に掲げる関連する法令等を遵守し、業務を遂行していただきます。

- (1) 野鳥の森条例
- (2) 野鳥の森条例施行規則
- (3) 群馬県暴力団排除条例
- (4) 地方自治法その他行政関係法令
- (5) 労働基準法その他労働関係法令
- (6) エネルギーの使用の合理化に関する法律その他省エネルギー関係法令
- (7) 障害者の雇用の促進等に関する法律
- (8) その他の関係法令

4 障害者の雇用に関する事項

- (1) 本施設において、5人以上の職員を雇用する場合は、次表のとおり施設自体での障害者雇用に努めてください。

施設の従業員数	雇用する障害者数
5人～45人	0.5人以上
46人～70人	1人以上
71人～95人	1.5人以上
96人～120人	2人以上
121人～145人	2.5人以上
146人以上	3人以上

短時間（週所定労働時間が20時間以上30時間未満）労働者は、1人を0.5人としてカウント

重度身体障害者、重度知的障害者は1人を2人としてカウント

ただし、短時間の重度身体障害者、重度知的障害者は1人としてカウント

- (2) 指定管理者に指定された場合には、当該団体として、障害者の雇用の促進等に関する法律で定められた基準を満たすよう、障害者の雇用に努めてください。

5 障害を理由とする差別の解消の推進に関する事項

指定管理者に指定された場合には、障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律に定めるもののほか、群馬県知事部局等における障害を理由とする差別の解消に関する対応要領に準じて、不当な差別的取扱いの禁止、合理的配慮の提供その他障害者に対する適切な対応を行っていただきます。

6 損害賠償責任保険に関する事項

指定管理者としての注意義務を怠ったことなどにより、利用者や第三者に損害を与えた場合の備えとして、指定管理者の負担において損害賠償責任保険に加入していただきます。

7 情報公開・個人情報保護に関する事項

(1) 情報公開に関する事項

指定管理者に指定された場合には、群馬県情報公開条例に基づき、野鳥の森施設の管理に関する範囲において、群馬県に準じる取扱いを定めた規程等を制定していただきます。

(2) 個人情報保護に関する事項

指定管理者に指定された場合には、群馬県公の施設に係る指定管理者の指定の手続等に関する条例並びに個人情報の保護に関する法律及び群馬県個人情報保護条例に基づき、施設の管理に関し知り得た個人情報等の保護について適切な対応を図っていただきます。

8 責任分担に関する事項

群馬県と指定管理者の責任分担については、協定書で定めることとしますが、群馬県の基本的な考え方は概ね次のとおりです。

項目	指定管理者	群馬県	備考
施設等の保守点検			
施設等の維持管理			
施設等に係る行政財産使用許可			
施設等の修繕			30,000円以下の修繕
施設等の修繕			30,000円を超える修繕
施設等に係る各種保険加入			
包括的管理責任			

火災保険及び管理者賠償責任保険以外は、指定管理者が加入

9 モニタリングに関する事項

(1) 月例報告書の作成及び提出

毎月の利用実績など指定管理業務等の実施状況等を記載した月例報告書を毎月作成し、当該月の翌月の10日までに群馬県に提出していただきます。

(2) 利用者満足度調査の実施

利用者の意見や要望等を把握するため、毎年度、定期的に利用者満足度調査（利用者アンケートなど）を実施し、その結果及び業務改善の状況等について群馬県に報告していただきます。

(3) 事業報告書の作成及び提出

管理の業務の実施状況及び利用状況等に関する事項を記載した事業報告書を毎年度終了後60日以内に群馬県に提出していただきます。

(4) 財務諸表等経営の状況を示す書類の提出

指定管理者団体の事業会計年度決算ごと（中間決算を含む）に、財務諸表等経営の状況を示す書類を提出していただきます。

(5) 群馬県及び評価委員会による管理運営状況の確認調査及び評価

群馬県及び群馬県の委嘱を受けた評価委員会が定期的に行う管理運営状況の確認調査に協力していただきます。

なお、群馬県及び評価委員会は年度ごとに管理運営状況进行评估します。

(6) 管理運営状況の公表

各施設について、別途群馬県が定める様式により、各年度の指定管理者の管理運営状況を取りまとめ、群馬県のホームページで公表します。

10 引継ぎに関する事項

(1) この募集により指定管理者が交替することとなった場合、新たな指定管理者は、指定管理者指定後に群馬県及び現在の指定管理者と、速やかに業務の引継ぎについて協議を行い、平成31年度からの管理が円滑に開始できるよう、引継ぎを行うこととします。また、指定管理開始日に先立ち、野鳥の森施設の管理運営に必要な人材や資材を確保してください。

(2) 引継ぎに当たって必要な経費は、原則として新たな指定管理者の負担とします。

(3) 野鳥の森施設の管理開始前に、現在の指定管理者が既に受け付けている平成31年4月1日以降の施設利用等の予約については、新たな指定管理者が引き継ぐものとしてします。

11 その他

(1) 申請に係る経費は、すべて申請者の負担とします。

(2) 次のいずれかに該当するときは、失格とします。

申請書類に虚偽の記載があったとき。

選定に関して選定委員と接触したとき。（申請前を含む。）

提出期限までに必要な書類が揃わなかったとき。

その他不正な行為があったとき。

- (3) 申請情報について暴力団等との関係の有無を関係機関に照会することがあります。
- (4) 指定後に暴力団等との関係その他欠格事項に該当することが判明した場合は指定の取消し等を行います。
- (5) 指定後に指定管理者の業務の内容が仕様書の条件を満たさない場合で、かつその改善が見込めない場合又は県が改善のために業務の一部を実施した場合には、管理費用を減額することとなる場合があります。

第13 問い合わせ先

群馬県環境森林部自然環境課野生動物係

所在地：前橋市大手町一丁目1番1号

FAX：(027)243-7702

電話：(027)226-2874

メール：kanshizen@pref.gunma.lg.jp

群馬県野鳥の森施設「管理仕様書」

1 開館時間と休館日

野鳥の森研修館及び鳥獣資料館の開館日等は、次のとおりとする。

(1) 開館時間

午前9時00分から午後4時30分までとする。

(2) 休館日

毎週木曜日及び12月29日から翌年1月3日までとする。

(3) 開館時間等の変更

開館時間等の変更が必要な場合は、事前に知事の承認を得ること。

2 利用料等

野鳥の森施設の利用は無料とする。

3 施設の主な業務

(1) 施設の維持管理業務

建物

建物（付帯施設を含む）の保守管理を行うものとする。

設備

機械設備等が常時正常に稼働するように保守、点検、を行うものとする。

故障等の措置

施設等において、破損・故障等の事故が発生した場合は、原因・状況の調査を行い、適切な措置を講ずると共に、県自然環境課に速やかに報告し、指示を仰ぐこと。

緊急時の措置

災害等の緊急時には、適切な措置を講ずると共に、県自然環境課に速やかに報告し、指示を仰ぐこと。

(2) 野鳥の森研修館

研修室での鳥獣の映画、ビデオ等の鑑賞希望に対応すること。

貸出用の双眼鏡は、園内での利用に限るよう指導すること。

(3) 鳥獣資料館

資料の観覧が自由にできるように配慮するものとする。

(4) その他管理に付随する業務

4 備品等

別紙野鳥の森施設等目録に記載した建物（付帯施設を含む）及び備品について適切な保守管理を行うこと。

野鳥の森施設等目録

1 施設等

場所 安中市松井田町横川（国有林地内）

施設の名称	建 物			土地（敷地） （群馬森林管理署から借受） 借受期間 H30.4.1 ~ H31.3.31	付帯施設等	備 考
	数量	面積	構造			
野鳥の森研修館 及び鳥獣資料館	2 棟	652.32m ² 内訳 野鳥の森研修館 348.74m ² 鳥獣資料館 303.58m ²	野鳥の森研修館 木造、平屋、 カラー鉄板葺 鳥獣資料館 鉄骨、モルタル、 平屋、カラー鉄 板葺	内訳 資料館 3,681m ² 研修館 2,302m ² 庭園 } 食餌植物園 1,098m ² 排水管理施設 39m ² 水道施設 242m ² (配管を含む)	食餌植物園 庭園 給餌施設 1 個（木製） 給水施設 1 式（コンクリート製） 受水槽兼ポンプ室 （給水施設、配管を含む） 野鳥図版	資料館 研修館 庭園 食餌植物園 排水管理施設 ポンプ室等 } 157 林班 口 ₁ 、口 ₂ 、 ろ 小班内 157 林班に 外小班内
野鳥観察小屋	4 棟	79.496m ² (19.874m ² × 4)	木造、平家スレ ート	NO.1 203m ² NO.2 65m ² NO.3 43m ² NO.4 45m ² 50m ²		NO.1 ... 157 林班二 ₁ 小班内 NO.2 ... 157 林班二 ₃ 小班内 NO.3 ... 157 林班二 ₄ 小班内 NO.4 ... 157 林班二 ₅ 小班内
遊水池	1 箇所	439m ²	一部コンクリート	439m ²		157 林班ホ小班
展望台	1 基	53.29m ²	木造、高床式平屋	236m ²		157 林班八 ₁ 小班
休憩舎	2 棟	39.69m ² 20.50m ² × 1 棟 19.44m ² × 1 棟	木造、平屋	182m ² (111m ² +71m ²)		157 林班八 ₂ 、八 ₅ 小班
公衆便所	2 棟	24.46m ² 12.50m ² × 1 棟 11.96m ² × 1 棟	ブロック造	163m ²		157 林班な ₁ 、八 ₁ 小班内
駐車場				1 箇所 4,285m ² 駐車場 3,405m ² 、道路 880m ²	付帯道路 880m ²	157 林班に ₅ 、に ₁₁ 、ろ、口 ₁ 小班内
園 地				6 箇所 3,783m ² No.1 見晴らし園地 186m ² No.2 ヤマドリの森 138m ² No.3 モミの木陰の園地 98m ² No.4 やしろの森 215m ² No.5 ポプラの園地 267m ² No.6 コナラの園地 2,879m ²	入口表示板 1 基 ベンチ 3 6 基 卓ベンチ 9 基 くずかご 1 4 個 防火用水 4 個 吸殻入れ 2 3 個 門扉 1 基	No.1 ... 157 林班八 ₁ 小班内 No.2 ... 157 林班八 ₂ 小班内 No.3 ... 157 林班八 ₃ 小班内 No.4 ... 157 林班八 ₄ 小班内 No.5 ... 157 林班八 ₅ 小班内 No.6 ... 157 林班わ ₃ 小班内
				給水管布設敷 324m ²		157 林班ほ ₁ 、外小班内

2 備品等

(1)野鳥の森研修館

名 称	数 量	摘 要
机	2 5 個	
椅子	5 5 個	
講義用机	1 個	
事務用机	3 個	
事務用椅子	3 個	
暖房用ストーブ	5 台	
勝手用戸棚	1 個	
流し台	1 台	
ガステーブル	1 台	
冷蔵庫	1 台	
テレビ	2 台	
電気炊飯器	1 台	
消火器	7 個	
掃除機	2 台	
電気コタツ	2 台	
応接セット	1 セット	
視聴覚器材	4 台	16mm 映写機、スライド映写機、オーバーヘッドプロジェクター、ホームビデオデッキ各 1 台
自動スライド機器	一式	
ビデオシステム	一式	液晶プロジェクター、ビデオデッキ、コントローラー、アンプ
ビデオカセットデッキ	1 台	
事務用書棚	4 個	
掛時計	3 個	
双眼鏡	1 5 台	双眼鏡 15 台
スポーツ用スコップ	2 台	脚付

名 称	数 量	摘 要
書籍	一式	
映画フィルムなど(16mm)	2 2	水辺の鳥、山野の鳥、丹頂の歌、日本の野鳥、野鳥とともに、森林は生きている第 1・2 部、欧米の野鳥保護 1 巻、野鳥の生活、欧米の野鳥保護、雷鳥の四季、野鳥と人間、野鳥の住める庭作り、四季のバードウォッチング春夏編等
ビデオテープ	5 8	45 億年の贈り物等
業務用ビデオテープ	8	群馬の四季、地球の生いたち、野鳥の四季、ハチの世界 等
チェーンソー	3 台	
布団、マットレス	8 組	
消耗品	一式	

(2)鳥獣資料館

名 称	数 量	摘 要
鳥獣剥製	約 100 体	自然史博物館から借受け展示
屋内展示パネル	1 9 枚	木製
長机	5 個	木製
長椅子	1 3 個	スチール製
展示ケース	1 0 個	
モニター	1 台	
ビデオカセットデッキ	4 台	
業務用ビデオテープ	4	野鳥と仲良く、人里の鳥、特別天然記念物(トキ)等
消耗品	一式	